

## 第2部 各論

**《現状と課題》**

- 市の医師会と共催し、医師、歯科医師、薬剤師を講師とした健康教室や保健師、管理栄養士が地域に直接出向いて行う健康講座を開催し、「自分の健康は自分で守り高める」という、市民の健康づくりに関する意識の高揚を図るとともに、正しい知識の普及啓発を図っています。
- 保健師、管理栄養士、看護師が、生活習慣病予防に関する保健相談や栄養相談、禁煙相談や心の健康に関する相談等、多様な健康ニーズにきめ細やかに対応しています。

**《青森市の健康の現状》**

- 平成 25 年 7 月 31 日に、厚生労働省が公表した「平成 22 年全国市区町村別生命表」において、本旨の男性の平均寿命は全国ワースト 4 位、県内最下位の短命市となりました。その背景には、生活習慣病による死亡率が全国より高いことや、中でも 65 歳未満の早世（いわゆる早死）が、大きな要因のひとつとしてあげられます。
- 本市の現状を改善していくためには、市民一人ひとりが健康づくりに必要な知識や情報を得て、それらを適切に活用することのできる力、いわゆる健康教養（ヘルスリテラシー）を高め、生活習慣を改善していくことが急務となっています。
- 市民の健康教養を高め、健康づくりを実践する市民を増やしていくためには、市民一人一人の意識と行動を変えていく「人づくり」として、健康づくりのための人材育成を強化していくことが必要です。

**《主な取組》****(1) 市民の健康教養(ヘルスリテラシー)の向上**

- ① 健康を保持増進するための健康情報等を適切に利用し活用する人材の育成
  - ・ 市民総ぐるみの健康づくり運動を推進するため、市民から市民へ健康づくりを伝える人材や、地域の健康づくりの推進をサポートしていく人材を、関係団体等との連携しながら育成し、地域の中で、市民の健康づくりの実践が広がっていくよう支援していきます。

